

作成: 芝崎

42. 海外出張時の思い出篇 : シンガポールの『スコール』

雨の季節になると、思い出すのがシンガポールでの『スコール』。休日に仲間とホテルを出ようとした時、突然空が暗くなり、アツという間に土砂降りとなり、ホテルの前の道路には側溝から水があふれ出て、川となる。初めて、『スコール』に遭遇した瞬間。ホテルに一日缶詰めかと思ったら、ホテルマンからすぐに晴れるよと、声をかけてくれた。待機していると、小一時間もしないうちに雨が止み、青空に、道路も元通りの状態に戻る。なんとなく、涼しくなった気がしたが、すぐ常夏の暑さに戻る。日本の「夕立」「俄雨」の感じだけど、これらよりも『スコール』の方が雨の量と降る時間が多い印象を受ける。洪水とか避難することなく、ほとんど被害のない降雨だ。

『スコール』という言葉、どこかで聞いた事があり、気になり調べてみると、日本で発売している乳酸炭酸水の名前だった。『スコール』のネーミングはこの雨から発想ではなく、デンマーク語で『スコール』は「乾杯」の掛け声の意で、それから名付けたものだった。よく見つけたものだ。イメージとしてはさわやかな雨で飲み物を連想させ乾杯することはピッタリだったかもしれない。ただ、日本での発音は同じでも、これらのスペルは異なり、他国では微妙に発音に変化、使い分けているのではと思う。ちなみに雨の『スコール』は SQUALL、デンマーク語の『スコール』は SKAAL。日本ならではの言葉のつながりも面白いと思った。日本では、これからのシーズンは最近「多雨量と特定地域に集中する『ゲリラ豪雨』」が多い傾向あり気になる季節が来るので心配だ。せめて『スコール』程度であれば、雨への恐怖心が無くなり、ホットする安堵感につながるのになあと毎年この季節となるとつくづく思う。

笑いのポイント(笑点)

(1) SQUALL

ス: (ス)すごい雨が急に降ってくる

コー: (コー)洪水になるかと思うぐらいの多量の雨でどうなるかと思ったが、

ル: (ル)ームに戻り、待機していると、あつという間に青空に。なんとも不思議な雨だ。

(2) SKAAL !!

ス: 素(ス)敵なことがあれば、スコール(乾杯)!!と

コー: (コー)ルしあって、

ル: (ル)ンルン気分になって、仲間たちと喜びを分かち合いたい。



(1) SQUALL



(2) SKAAL !!



以上